

区役所整備 分野別判定表及び順位表 分野 安心・安全

分野	分野の説明	判定項目	項目の説明	判定基準	配点
安心・安全	《安心・安全》 利用者，職員の安心・安全 区民の防災拠点としての役割	耐震性能	地震時における建物の損壊等の危険度	耐震診断結果（A～C）	老朽度にかかわらず A > B > 新耐震
		老朽度	建物躯体の物理的に使用可能な年数 SRC及びRC：50年 S：38年 軽量鉄骨：30年（ ）	判定数値 SRC，RC：経過年数 S：経過年数×50/38 軽量鉄骨：経過年数×50/30	満点 50点

軽量鉄骨は肉厚3mm超4mm以下

分野 安心・安全 耐震性能別順位表

耐震診断A * 応急的耐震補強実施

区	構造	老朽度			分野 総合順位
		経過年数	判定数値	順位	
北	本館	鉄筋コンクリート	46	46.0	1
	新館 (新耐震)	鉄骨	14	18.4	
南	本庁舎	鉄筋コンクリート	37	37.0	2

耐震診断B

区	構造	老朽度			分野 総合順位
		経過年数	判定数値	順位	
西蒲	新館	鉄筋コンクリート	31	31.0	1
	旧館	鉄筋コンクリート	47	47.0	
西	本館 (新耐震)	鉄筋コンクリート	11	11.0	2
	分館	鉄筋コンクリート	29	29.0	

新耐震

区	構造	老朽度			分野 総合順位
		経過年数	判定数値	順位	
東	本館	鉄筋コンクリート(1-3F) 鉄骨(4-5F)	31	31.0	1
	分館	軽量鉄骨	1	1.7	
秋葉	-	鉄骨鉄筋コンクリート	20	20.0	2
中央	市役所本館	鉄骨鉄筋コンクリート	19	19.0	3
江南	-	鉄骨鉄筋コンクリート	18	18.0	4

* 財産処分期限

SRC及びRC：50年

S：38年 軽量鉄骨：30年

* 2棟ある場合は，

判定数値が高い方を採用